

わが町の少子高齢化社会の課題と方向性は

大崎町総合戦略に盛り込む



富重 幸博 議員

人口減少が進む中でわが町の課題と進むべき方向について、どのような認識を持っているか。

総合戦略に盛り込む

町長

人口減少対策を含め町が抱える総合的な課題解決に向けた考え方を、地方創生の指針である大崎町総合戦略に盛り込みたい。

公共施設の存続管理面は

富重議員

公共施設を含む各種インフラ施設の存続、維持管理面についてどのような方向性を考えているか。

わが町の労働力確保は

富重議員

都市部での高賃金を求めて外国人労働者の流動化が加速する時に備え、わが町の労働力確保についてどのように考えるか。

研究機関と連携し取り組み

町長

地元就業促進、子育て環境の改善に加え研究機関と連携し、労働力確保に向けた新たな取り組みを進めていく。

企業誘致について

富重議員

新規企業誘致に関する実績と今後の方策について示せ。

新規の進出企業は4件

町長

平成2年以降の立地協定9件、雇用協定1件で、うち新規は4件である。今後も県企業誘致推進協議会等を通じた誘致活動を行っていく。

旧大崎第一中学校跡地誘致企業の経過と課題は何か

富重議員

旧大崎第一中跡地については、現在、誘致企業である松本商会の操業が停止しており、敷地の

一角に廃ビニール等が野積みされたままである。

企業の誘致から操業停止に至るまでの経緯を含め、廃ビニール等の処理をどうするのか。

弁護士・国と協議中

町長

松本商会は、平成28年3月に操業開始、直後の5月に唯一再生処理技術を持つ社長が事故により長期入院で操業停止した。その後、平成29年5月には再稼働したが、平成30年1月に再入院後は、復帰できない状態であり、現在破産処理の準備を進めており、今後の処理について弁護士と協議を進めている。企業立地に伴う国庫補助金の取り扱いは国と協議中である。

誘致に至る審査は

富重議員

企業誘致に係る各種審査等、手続き全般に課題はなかったか。

処理に最善を尽くしたい

町長

金融機関審査を経て立地協定に至った。現況の状況には最善を尽くしたい。

あすばる大崎の課題を示せ

富重議員

利用者から夕食の提供やサービスの低下、同窓会キャンセルの話が聞くが課題は何か。

老朽化や経費の高騰が原因

町長

設備の老朽化、類似施設、人件費、燃料費の高騰など安定的に経営する環境が厳しくなった。

解決のための対応策を示せ

富重議員

課題解決のための考えを示せ。

支援は必要と認識している

町長

収支のバランスを精査し、安定運営ができるよう検討する。



野積みされた廃ビニール等